

各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長

全国港湾書記局

## 12/22 中央事前協議会の協議経過について

1. 12月22日(木)11時00分より開催した中央事前協議会は、荷主・ユーザー等が港湾地域に倉庫・物流施設を建・増設し、稼働する事案6件、革新船に係る事前協議事案40件(重要案件1件、12月16日までに地区に下した軽微事案39件)について協議を行なった。その結果、施設案件の4件、革新船に係る重要事案の1件の計5件を了承するとしたが、施設に係る案件の2件は、詳細な作業体制を確認したいとして、中央保留・地区先行協議とし、地区協議に付すこととした。
2. 中央保留・地区先行協議とした事案は以下の通り。
  - (1) 整理番号(22-529)SBS東芝ロジスティクス㈱と関西1プロパティ特定目的会社が、大阪市住之江区にある「大阪住之江物流センター」の一部を借受け運営することについての事案は、地区での作業体制を確認したいとした。
  - (2) 整理番号(22-531)㈱小松製作所とコマツ物流㈱が、常陸那珂港にある工場を稼働することについての事案は、地区で詳細を詰めていきたいとして、地区先行協議とした。
3. 報告案件について
  - (1) 11月度(11月28日)の事前協議会における重要案件の地区協議結果について、施設案件1、船社案件3件の計4件について了承されたことが報告された。
  - (2) また、12月12日に開催した臨時中央事前協議会における重要案件のオンラインネットワークエクスプレス(ONE)関係重要事案の地区協議結果、計7件について了承されたことが報告された。
  - (3) コンテナ船等の代替配船に係わる報告案件(11月24日~12月26日)について、邦船関係7件、外船関係46件が報告され、確認した。
4. RTG遠隔操作について
  - (1) 日港協より提案のあった「RTG遠隔操作化に関する事前協議提出までの中央労使委員会等のプロセスについて」組合側の意見を求めた。組合としては、プロセスは問題ないが、正式な回答を何処ですべきか、事務局で対応を調整したいとし、労使で確認した。
  - (2) 現在、事前協議でストップが掛かっているNUCT(名古屋港)T2バースと興津ターミナル(清水港)についての労使で現状を確認し、組合側からは興津ターミ

ナル（清水港）は、1月初旬に視察に行く予定であり、NUCT（名古屋港）T2  
バスについては、現状に変化がないので視察の予定が現在ないと返答した。

5. なお、次回の中央事前協議会は、2023年1月30日(月)、次々回（2月度）は2月  
27日(月)に開催することを確認した。

以 上

<添付> 12月22日(木) 中央事前協議会事案(12月度)